

こんにちは。

カレンダーや販促・印刷で

お世話になっております

「あなたのために名入れを追求する」

マツウラです。

日頃のマツウラの様子ができる記事を

中心にお伝えしていきます。

* * * * *

◆それでは「となりのマツウラさん」の各記事をお楽しみください。

目次

【1】 * * * 衣替えシーズン到来 ユニホーム選びのポイント * * *

【2】 * * * 今週の SNS 新着 電気記念日 * * *

【3】 今月のメディアニュース 3本

☆マツウラからの大切なお知らせ☆

【1】 * * * 衣替えシーズン到来 ユニホーム選びのポイント * * *

4月に入り衣替えの季節がやってきました！

まだまだ肌寒い仙台ですが、

冬から春の装いに変わる時期になりました。

マツウラではお客様のお名前を刺繍やプリント

したオリジナルのユニフォームを

ご提供させていただいておりますが

4月に入るとお問い合わせやご注文が増えてきます。

そこで今回は、企業でユニフォームを揃える

3つのメリットと選ぶポイントを紹介したいと思います。

<3つのメリット>

●メリット1

会社のイメージアップに！！

私たちは、会社ロゴやマークの刺繍、

ワッペン、また会社独自のデザインをご提案し
ユニフォームでブランドイメージアップにつながる
お手伝いをいたします。

また、ユニフォームは「動く看板」と
言われるほど宣伝効果抜群！
会社のロゴ、社名をいれることで
一目見ただけで会社名を認識できるため、
ユニフォームを着用して社外を歩くだけで
企業の宣伝広告になります。

●メリット2

社員さんのやる気アップに！！

会社の名前が入っているユニフォームを
着用することで、この会社の一員として
働いているんだ！という誇りを感じることができ
モチベーションの向上につながります。

仕事に対しての使命感ややりがい、
責任感をもてるようになればいいですね。

●メリット3

チームワークの向上に！！

会社オリジナルのユニフォームを着用することで
従業員の間で仲間意識や連帯感が生まれ
チームワークもよくなること間違いなし。

また新入社員など、新しく入る従業員も
ユニフォームがあれば、職場に溶け込みやすい
雰囲気を作れるのではないのでしょうか。

<ユニフォームを選ぶポイント>

●機能性で選ぶ

素材の通気性やポケットの数
ボタンやファスナーの位置など
着心地の良さや着用しやすさを重視しながら
選んでいきます。

また日々のお手入れも必要になるので
耐久性や洗濯のしやすさも考慮すべき
ポイントです。

会社の作業内容、業務内容、着用の目的などを
聞き取りしながら
最適なユニフォームをご提案していきます。

●安全性で選ぶ

火や電気などを扱う、危険が伴うお仕事の場合は、
ケガや事故が起こる可能性も考慮し
着脱しやすくシンプルなデザインを選んでいきます。

防火防災加工、帯電防止加工など
特殊加工されたユニフォームで社員の皆様を
お守りします。

これまで、男性のイメージが強かったワーキングウェアを
女性や若い社員が着やすいデザイン、
カッコいい「名入れ」にすることで
着用したい「ユニフォーム」になるよう
ご提案していきたいと思えます。

ユニフォームを検討されている方、
これまでのデザインから変えようかとお考えの方、
お気軽にマツウラ社員にお声がけください。

【2】 * * * 今週の SNS 新着 * * *

グーグルマイビジネスなどの投稿を紹介します。

◆◇◆マツウラのグーグルマイビジネス◆◇◆

<https://posts.gle/yuYn38>

「夜を明るく照らしてくれる」
たとえば江戸時代は月や行灯でしたが、
今は LED 電球などの電気の光でしょう。

そんな電気が日本に伝わったのは
明治 11 年 3 月 25 日
それを記念し「電気記念日」を制定しました。
この日は工部省電信局は
万国電信連合に加盟する準備として
東京木挽町に電信中央局を設けました。
そして工部卿の伊藤博文や各国行使など
150 人を超える人々が参加した開局祝賀会も開催され、
日本で初めて公の場で電灯が点灯された日でもあります。

当時の主流派アーク灯と呼ばれる明かりでしたが、
その後長く、「蛍光灯」や「白熱球」なども
最近まで店頭に並んでいました。
しかし「白熱球」は 2012 年、「蛍光灯」も 2020 年に
国内製造が中止になってしまいました。

その後を引き継いだのが LED 電球(発光ダイオード)でした。
この発光ダイオードは 1962 年に発明された時には
赤色のものだけでしたが、
その後 1989 年に日本人の中村修二氏達により
青色 LED の発光結晶の窒化ガリウムが
世界で初めて制作され、
その後青色 LED が発明されました。
この発明によって
中村氏はノーベル物理学賞を受賞しています。

最近では LED 電球のおかげで

電気の交換も少なくなり
明るい光で快適に仕事や生活が
できるようになりました。
電気交換時や震災の時などしか
電気の事を考えなくなってきました。
この機会に電気のメンテナンスを
してみてもいかがでしょうか。

(株)マツウラのグーグルマイビジネスには、
「こよみ」にまつわる「どこかで役にたつ！」
かもしれない雑学記事を掲載しております！
是非ご覧ください！
→<https://ux.nu/vukXe>

【3】今月のメディアニュース
印刷業界の最新情報や
カレンダーに関するニュースをお届け。

◆印刷 2 強、大日本印刷と凸版印刷を分析する

印刷業界の 2 大巨頭
印刷業界が不景気の中でも業績が落ちない理由は？
<https://toyokeizai.net/articles/-/68254>

会社が生き残るためには、
時代に合わせて柔軟に変化していくことが大切だと学びました。
私たちは「印刷屋」から「名入れ」という視点に変え
名入れとは？を追求していくことにしました。

◆新 1 万円札、製造本格開始 財務省、22 年度まず 6 億枚

ついに新札の本格製造が開始されました。
新しいお札には様々な最新の技術が
使われているので手にするのが待ち遠しいです。

<https://www.iwate-np.co.jp/article/kyodo/2022/4/1/860551>

私たちはお客様の名前を
どのようにして広めていけるかを
研究していますが
あっ！と驚くような目をひく技術で
表現できたらいいなと思います。

◆3D印刷のうまい肉「大阪万博で味わって」
実食めざし阪大など連携

近い将来印刷された食品や飲み物を
当たり前食べる時代がやってくる？
技術は人の細胞にも応用可能？

<https://news.livedoor.com/article/detail/21911973/>

技術の進歩はすごい！と思いました。
このような研究が進み、再生医療にまで発展していけば
自分の細胞で臓器を作って、
臓器を取り替えることが出来るように
なるんですね。
元気で長生きできることはとても嬉しいです。

☆マツウラからの大切なお知らせ☆

コロナ禍となり飲み会や、社内イベントが
少なくなっている昨今ですが、
『良い仕事をするには、
社員同士のコミュニケーションが大切！』
ということで
今期は社員の誕生日に「誕生日ランチ会」を
企画することにしました。

記念すべき初回は、
2月に入社された渡邊さんと

代表の松浦が誕生日という事で
『お誕生日会』と『歓迎会』を開催。
手作りの「おたんじょうびおめでとう」の
プレートを飾り盛り上げていただきました。

同じ団地の「鐘崎さん」のお弁当と
味噌汁を用意し、そして麦茶で乾杯♪
普段は各々食事をとるので、
机を並べて全員でお昼を食べた1時間は
とても楽しい時間となりました。
みんなの笑顔が忘れられません。

お昼の時間を使いながら
気軽に参加出来るスタイルで
コミュニケーションをとっていただけることを
体感できました。

これからも社員一丸となって、
コロナ禍だからこそ出来る企画をたてて
楽しんでいきたいと思えます。

当日の様子はこちら↓↓↓

集合写真

<https://bit.ly/3J6ps0h>

お誕生会風景

<https://bit.ly/3j4kFCb>

過去のメルマガはホームページ

「お知らせ」よりご覧いただけます↓↓↓

<https://www.sendai-matsuura.co.jp/>

Twitter はこちらからご覧いただけます↓↓↓

https://twitter.com/matsuura_sendai

◆このメールマガジンは当社社員が

名刺交換させていただいた皆様に向けて、
最近のマツウラの様子や
今後の印刷・カレンダーなどの
動向などをお伝えすべく、
月2回程度配信させていただく
予定でお送りいたしております。

◇メール配信停止、配信先メールアドレスの
変更をご希望の方、
又は同じ配信が複数届いている方は
大変ご面倒をおかけしますが
下記よりご登録をお願い致します。

配信停止をご希望の方
<http://ur2.link/U7Md>

メールアドレス変更をご希望の方
<http://ur2.link/rKW6>

◇記事内容へのお問い合わせ・その他ご意見は
info@sendai-matsuura.co.jp
宛てにお寄せください。

◇ホームページはこちら
<https://www.sendai-matsuura.co.jp/>

発行：株式会社マツウラ
〒984-0001 宮城県仙台市若林区鶴代町5-75
TEL：022-232-4413
FAX：022-232-4468

編集：松浦月子・阿部寛